

☆☆



せりがやだより

横浜市立芹が谷小学校 令和5年 11月学校便り

☆☆

「あい ある 教育を」

校長 熊谷 眞理子

令和5年10月14日、本校で第57回運動会を開催いたしました。今年のスローガンは、「元気いっぱい！くいのないように、正々堂々とたたかおう！！」でした。当初は台風15号の動きが気になりましたが、当日は天候に恵まれ、素敵な運動会を無事に開催することができました。保護者のみなさま、地域のみなさまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

さて、令和の日本型学校教育の構築を目指して「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」（答申）が令和3年に中央教育審議会から出されました。この答申が出された背景には、人工知能（AI）等、最先端技術の高度化による社会の在り方の劇的な変化や感染症拡大など、先行き不透明な「予測不能な時代」に踏まえ、これからの学校教育の在り方について検討する必要性がありました。

「個別最適な学び」は、「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を、学習者の視点から整理した概念で、新学習指導要領では、「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図ることが求められています。

また、「個別最適な学び」が「孤立した学び」にならないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子ども同士で、あるいは多様な他者と協働しながら他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるように、必要な資質能力を育成する「協働的な学び」を充実することが重要とされています。

これからの教育では「学び合い」、「支え合い」、「高め合い」、学びを深めていくことが大切であると考えています。友達の考えを聞いて多面的に思考し、自分の考えを更に深めていくことが期待されます。また、今後は生成AIが教育界にも登場してくる日が近いといわれています。AIは経験を積むことにより、思考力がより人間に近づいてくるそうです。理解を深めるうえで視覚的支援による教育的効果が十分に発揮されることも、期待されます。

学びの主体は、子どもたち。視覚的支援（eye）を行って理解を深め、意見を交換して学び合い、支え合い、高め合い、多面的・批判的にみながら自分の考えを深めていくことができるように支援していきたいと考えています。そして指導者側は、「愛情」を込めて、子どもたちの思考に沿った学習の支援をしていきたいと思ひます。人間に近づいた思考力をもったAIが、近い将来活用される可能性があることを含め、すべての「あい」を十分に活用して子どもたちの秘めた可能性を引き出し、伸ばしていきたいと考えています。

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して
～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な
学びと、協働的な学びの実現～(中教審答申)
R3.1.25

とも **共にチャレンジ** かがや **みんな輝け！**